

私たちと一緒に働きませんか——看護師さんを募集しています



病院長 星 和彦

病院の中で患者さんに最も頼りにされているのは看護師さんです。毎日、親身になってお世話し相談に応じてくれる看護師さんに、患者さんやご家族の方々がどれだけ感謝しているかわかりません。看護師さんの優しい言葉、明るい笑顔が病気に立ち向かう患者さんの大きな力になっています。子供たちが将来なりたい職業として常に看護師さんが上位にランクされることはよく理解できます。しかし、看護師さんの仕事ほど大変なものはありません。夜昼無く動き回る重労働で体力的にも大変ですが、常に進歩している医療を理解するには毎日の勉強も欠かせません。私どもの附属病院は県内の中核病院であるとともに、明日の医療を担う若い医師や看護師さんの教育病院という性格上、その傾向の強いことは否定いたしません。そのため、何とか看護師さんの増員を図り、出来るだけ“ゆとり”のもてる魅力ある病院作りを目指しています。患者さんには「ここで治療することが出来てよかった」と心から思える病院に、そして、職員の方々には「ここで働くことができて本当によかった」と感じる病院にしたいと考えています。職場の環境改善にも取り組んでいます。充実した、そして満足できる病院づくりに参加していただき、また自分を磨きたいという看護師さんを募集しています。お問い合わせ・ご連絡をお待ちしております。



看護部長 鈴木 久美子

法人化後3年を経て、山梨大学病院は多くの改革を行い、すべての患者さんに満足できる病院をめざして、質の高い医療・看護を維持していくために努力しております。さて、平成18年4月に診療報酬改定が行われ、急性期入院医療の実態に即した看護師配置基準「7対1」（従来の配置基準で1.4対1）が導入されました。従来は、50床の病棟で25名の看護配置（2対1）ですが、これが「7対1」看護配置になれば36名になります。1病棟につき11名の看護師が増員できるわけです。これが実現できれば、今よりもっと患者さん一人ひとりの話を良く聴くことや、手厚い看護の提供ができるようになります。本院でこの配置基準を満たすためにはさらに約100名の増員が必要になりますが、今後も高度医療を担う大学病院として機能を維持するためには「7対1」の配置基準を満たすことは必須であると考えます。本院職員だけの努力では看護師確保は困難であり、ぜひとも患者さんやそのご家族の方々、地域住民の皆さんの協力を得ながら、「7対1」看護配置基準を実現したいと考えております。皆さんのお知り合いの方で本院で働いてもよいと思っている看護師の方がいらっしゃいましたら、どうぞご紹介くださいますようお願い申し上げます。



《本院看護部の特色》

看護師の平均年齢が30歳と若い当院は皆生き生きとし活気があります。物事に対するチャレンジ精神が旺盛で、いろいろなことを決めていくにも既製の枠にとらわれずに一人一人の発想を大切にする組織です。特に力を入れていることは、看護師として成長していくための教育です。新採用者に対して、指導看護師が1年間つき基本的な知識・技術を教育することは勿論、大学院への進学や認定看護師取得について

もバックアップしています。また、院内に保育園を完備しており育児をしながらでも働ける環境が整っています。このように、学ぶ環境と働く環境の二つがそろった当院で皆さん一緒に働きませんか？一人でも多くの方が私達の仲間になることを期待します。



ICU 渡邊 裕美

看護師になって3年目を迎え、看護師1年生の教育に日々関わっています。教える難しさを感じつつ、キラキラした1年生の気持ちを大切に、先輩方が自分に教えてくれた事を胸に頑張っていきたいと思えます。



1階西病棟 川原 弥恵

「看護師って大変だね」と、よく言われます。まさにその通りです。不規則だし、足はむくむし、やたらおなか空くし。命への責任の重さについて弱音を吐いてしまうこともあります。なのに私たちが白衣を着つけられるのはどうしてでしょうか。それは、患者さんの「元になりたい」という気持ちが私たちを支えてくれているからだだと思います。背負っている責任の重さから逃げたくなったとき、がんばって病氣と闘っている患者さんの姿や元気になって退院していく患者さんの後姿に幾度となく力づけられました。看護師が患者さんを支えているのではなく、患者さんが私たちを支えている。だから今日も患者さんと共にがんばれるのだと思っています。



5階西病棟 吉田 美代子

私の働いている病棟は内科、外科の4科混合病棟で、慢性期・急性期の様々な患者さんが入院しています。急性期の患者さんに対しては、出来るだけ手術後の痛み、苦痛を取り除く看護が出来るよう関わっています。慢性期の患者さんに対しては、長期入院の患者さんが多いため淋しい思いをしないよう出来るだけ声をかけ、タッチングをしながら話を聞き、精神的に安定できるような関わりを持つようにしています。この様に、様々な患者さんと辛い時を共に乗り越え、「ありがとう」と笑顔で退院されていく患者さんの姿を見ると「看護師をしていて良かった」と感じます。



4階東病棟 西室 新

毎日忙しい病棟ですが、手術の後、患者さんが回復して、元気になることを目指して頑張っています。その中で、患者さんから返ってくる笑顔が自分の一番の支えになっています。少しでも患者さんが笑顔になれるように看護をしていこうと思っています。



緩和ケア「がんの痛みの治療」教室のご案内

本院の緩和ケアチームでは「がんの痛みの治療」教室を開催しています。内容は主に『医療用麻薬』についてです。チームの薬剤師による講義の後に、チームの医師と看護師が参加者の質問等を受けています。参加費は無料で、事前予約の必要はありません。患者さんや家族の方などお気軽にご参加ください。

「がんの痛みの治療」教室

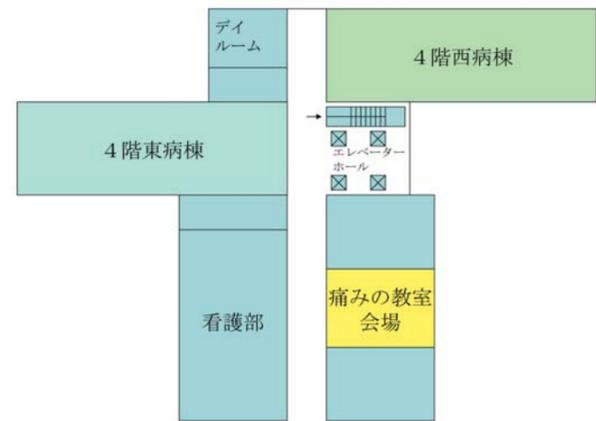
【場 所】山梨大学医学部附属病院 4階カンファレンスルーム

【開催日時】月曜日 13:30～

6月11日／7月9日／8月20日／9月10日／10月15日

11月12日／12月10日

(井上 貴美 記)



4階カンファレンスルーム 案内図

咳エチケットについて

今年のインフルエンザは流行の時期が例年に比べて遅かったのですが、集中的に猛威を振るいました。インフルエンザワクチンを接種したのに罹患してしまった人もいます。インフルエンザは咳やくしゃみなどの飛沫で感染します。最近、SARS（重症急性呼吸器症候群）や鳥インフルエンザなど重症な呼吸器症状を伴う感染症が問題となっています。呼吸器感染症を予防するための日常的な対策である咳エチケットについて説明します。

咳エチケットとは、

◎咳またはくしゃみの時は、鼻や口を覆う

◎痰や唾液をぬぐうのはティッシュを使用し、
使用後のティッシュはゴミ箱に棄てる

◎痰や唾液で汚染された物に触った後は必ず手を洗う

◎咳がある場合は、病院の待合室などの多くの人がいる場所では、他の人との距離を1m程度空ける

咳エチケットは、咳や熱、鼻水や関節痛などの風邪症状がある場合に、自然に行えるよう、日常の中で常に心がけてください。

また、インフルエンザのように流行がみられる感染症の場合にはワクチン接種とマスクの使用は必ず行ってください。特に入院している患者さんへの感染を防止するため、風邪症状がある方の面会を固くお断りしています。



(堀口 まり子 記)

改修終了のお知らせ

患者さんへのサービス向上のため、各種改修を行ってまいりました。工事中は騒音等でご迷惑をおかけいたしました。ご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。これからも診療体制充実のため様々な取り組みを行います。

無菌室

7階西病棟で無菌室への改装工事が行われました。無菌室は、血液疾患患者さんの感染防止に大きな力を発揮します。

タクシープール

排気ガスが臭いが気になるとの患者さんからのご指摘から、タクシーの待機場所を病院正面玄関ロータリー北側に移設しました。

内科外来

本院の内科は、第一内科、第二内科、第三内科、神経内科、血液内科の5科から構成されており、近年の外来患者さん増加への対応と診療機能の充実を図る目的から、この度、診察室を広げ、室数も増やしました。

耐震工事



かねてより、大地震に備えての病棟耐震工事を実施していましたが、3月末に完成いたしました。外部にフレームを組み立て、4階床面を東西各10箇所のダンパーで支え、地震の揺れを抑えます。

産科病棟を改修しました

今回産科病棟に特別室AAを新設しました。女性にはうれしいシャンプードレッサーが備えてあります。

【特別室使用料】

◆特別室AA…5,250円（新設） ◆特別室B…4,515円

◆特別室A…4,935円 ◆特別室C…1,680円

なお、特別室使用料に関する質問等がございましたら、医事課3番窓口までお問い合わせください。

(井尻 勝登 記)

入院したその日に患者さんの許にお伺い致します。 「標準食、特別メニュー食のどちらになさいますか」



昨年六月から始めた国立大学附属病院で初めて導入した特別メニュー食。是非、一度お試しになって下さい。温かいことは勿論のこと。黒塗の盆の上に所狭しと並んだお料理の数々。材料や質ばかりでなく、当院の「腕に覚えのある料理人」が手間と技を掛けた逸品ぞろい。また、お料理をより美味しく演出するには食器も大切な小道具のひとつ。その日のメニューに合った食器選びにも心

（気）配りをしています。

さて、本院では入院されたその日、患者さんの許に伺い、特別メニューの説明と、提供するメニュー写真をお見せした後に、「どちらになさいますか」と、お聞きしています。

(小林 成美 記)



トリアージ訓練

5月12日（土）午前9時から、約430名の参加により、トリアージ訓練を実施しました。トリアージとは災害発生時等に傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置等を行うために、治療優先順位を決定するものです。本院では毎年訓練を実施しています。



ヴァンくん来る!!



4月25日、ヴァンフォーレ甲府のキャラクターであるヴァンくん（甲斐犬、好きなもの：ほうとう、桃、葡萄）が小児科病棟に遊びに来てくれました。入院中の子供たちの質問に答えたり、記念写真を撮ったり、一人ひとりにサインボールと楽しいひと時をプレゼントしてくれました。

コーヒーショップ営業時間延長のお知らせ

スターバックスの営業時間が延長され、

平日は 7:00～20:00

休日は 7:00～18:30 となりました。



* 大学病院だよりのミニ版創めます *

大学病院だよりは年2回（6月、12月）の発行ですが、この間にとり急ぎお知らせしたい事項等がありましたら、随時ミニ版（A4版—この大学病院だよりの半分）を発行する予定です。配布場所も診療科外来の窓口やデイルーム等、皆様に気軽にご覧いただける場所を考えておりますのでご愛読をお願いいたします。